

キャリア教育は必要です！

キャリア教育は必要です。しかし、上の学部や社会とのつながりが薄いキャリア教育では、子どもの主体的なキャリア形成を積み上げていくという側面からの営みが弱くなると思います。私たち社会人もそうであるように「百聞は一見に如かず」だからです。一足飛びにはいきませんが、子どもたちが、キャリア教育での体験で前のめりになって取り組んでいる姿や、その後の努力につながっている姿に、見ている我々も胸をすくようなキャリア教育をめざしていきたいと考えています。

他方、学校の教育活動全体の中で育むものとされてきたキャリア教育が、逆に「キャリア教育の中核となる時間」を曖昧にしまい、子どもたち一人一人が自らの在り方生き方を心から考えることができるような指導場面に弱さもあるような気がしています。

虹の原では、つながりが創る豊かなキャリア教育を掲げ、「キャリア教育の中核となる時間」を改めて確認したり、見付けたりしていきたいと思います。

小学部では、「まちをしよう」や「いろいろな仕事」など生活科や特別活動の内容を要として、社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かるように体験学習を重視しています。また、中学部では、高等部の「校内実習体験学習」を新しくスタートさせます。そして、高等部(就業サービス科)では、「虹の原プロジェクト(第1弾)」と称し、ミライ on 図書館(県立図書館)とコラボした「探究活動と作業学習をかけあわせたデュアルシステム型職場実習」に新しく挑戦しています。

子どもたちが、緊張しながらでも、すごい、やってみたいと、目を輝かせて学習に飛び込んでいる姿や、結果、〇〇の勉強をして自分を磨きたい、〇〇をめざしたいと、自分の主観的な認識に少しでも前向きな変化が生じるように充実したキャリア教育に取り組んでいきます。



『令和7年度 学校経営方針』で、学校教育目標の一つに『自分の力を最大限発揮し、社会参加するために必要な粘り強く学びに向かう力や豊かな心情をはぐくむ。』を掲げています。

また、今年度の重点取組事項の一つに「③中高一貫したキャリア教育の実現」掲げています。

「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育を展開する

- 「R7年度 学校経営方針」でめざす！ -